

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	森田 敏湖	市確認欄	
専門部会名	第 1 回	ケアマネジメント部会	
日 時	令和 7 年 5 月 27 日（火） 13 時 30 分～15 時 00 分		
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 6 名	市職員 1 名	事務局 8 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り・ <input type="checkbox"/> なし		
次第	1 部会員自己紹介 2 今年度の部会の進め方について 3 全体会の報告 4 議題 5 本日のまとめ、次回の検討課題について		
報告・検討の内容	1 部会員自己紹介（武末） ・令和 7 年度 変更があった事務局、市職員、部会長、副部会長の順に自己紹介。 2 今年度の部会の進め方について（日岡） ・4 つの部会が抱える課題の共有と、議論の前進の第 1 歩とすべく、全体会を発足させ、第 1 回目を令和 7 年 4 月 22 日に開催したことを報告。専門部会については、各部会で協議すべき内容に応じて回数を決定したことを報告。 ・ケアマネジメント部会の協議内容と回数 ① 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの啓発 ② 地域生活支援拠点等の機能の充実 ③ 家族支援について 以上を含めた合計 4 回で協議していくことを報告。 ・部会の回数が減ったことにより、開催日までの間が空くため、その間に協議すべき点ができただけの場合には、電子連絡帳ヘルピーネットやメールを活用して、皆様のご意見を伺っていきたいことを説明。 ・未登録の事業者への登録を促進し、将来的にヘルピーネットを利用して、支援対象者の情報共有ができるようになることを目標にしていきたいことを説明。（櫻木） 3 全体会の報告（副部会長） ・各部会の部会長・副部会長と、事務局が集まり実施。意見交換で、意思決定支援や強度行動障害への支援、幼少期からの家族支援等、部会での課題はところどころつながっていることが確認できた。各部会に持ちか		

えり、今年度の部会の取り組みに取り入れていくこととなったことを報告。

4 議題

(1) 「にも包括ケアシステムの啓発」について (部会長)

- ・日進市役所ホームページに掲載している、「にしんココロの支援ガイドブック」の閲覧数について報告。(渥美)
令和6年11月～令和7年5月27日までで56回。
- ・医療機関等の更新について、担当の割り振りと期日の確認。
後日、市の事務局より電子連絡帳ヘルピーネットを活用し、通知する。
- ・市民まつりで周知を行うか確認。

〈出された意見〉

- ・去年は多くの人に配布し、冊子を知ってもらうことが目標であった。必要な人への配付や、どう周知するかを検討できるといい。対象の方が参加される他のまつり（ポレポレ祭り、あゆみまつり）に出向き、必要な方に配布するのはどうか。
- ・市民まつり自体は、日進市役所地域福祉課や日進市社会福祉協議会がブースを出すため、そこに冊子を置くことは可能。
- ・精神科の対象とまだ認識していない人へ周知するには、どこに冊子を置いておくべきなのか協議できるといい。
- ・市内産業医や企業内のメンタルチェックでひっかかった方に配布する方法もある。
- ・大学生は親元を離れて暮らしているかもしれないため、大学内に置いてもらう依頼はできるかもしれない。
- ・精神科には配布しているが、内科や外科等にはまだ配布できていない。

〈質疑応答〉

- Q. 在庫から配布するのか。
A. 修正したものを配布する。
- Q. 市役所のラックに置けているのか。
A. 今は置けていない。
- Q. すばるの活動は継続しているのか。
A. 継続しているため、掲載について協議を行う。
- Q. 今年度の冊子の予算はいくらか。
A. 予算自体はあるため、昨年度の部数は可能だが、切り欠きの有無等によって冊数は異なってくる。

(2) 「家族支援のあり方」について (部会長)

- ・昨年度から引き続き、家族支援のあり方について意見を伺う。

〈出された意見〉

- ・日進市子ども発達支援センターが保育園職員向けに、家族支援について研修会を開催している。家族、事業所、地域の園と連携し、統一した支援をすることで、本人が落ち着いて過ごせるとのことだった。また、今年度から愛知県で強度行動障害のコンサルテーションが始まり、幼少期からの間違った行動の積み重ねで行動が強化されていくため、幼少期からの支援が大事という話があった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援と意思決定支援は同じ枠で考えていいのではないか。 ・家族の障害受容も関わるため、ケアマネジメント部会のみで抱えるのではなく、全体会で話し合えるといい。 ・障害関係団体連絡協議会や手をつなぐ育成会に直接、ご意見をいただくか、事業所連携を進めるための支援者向けの講義を行うか、どちらかをできるといいのではないか。 ・当事者から意見を聞き、それを基に事業所に質問を投げかける方が聞きやすい。ニーズを集めプランを立てる流れがいいのではないか。 <p>(3)「意思決定支援の充実」について (部会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思決定支援と家族支援は重なる部分があるため、(2)(3)を合わせて協議した。 <p>5 本日のまとめ、次回の検討課題について (部会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子連絡帳ヘルピーネットやメールにて協議内容を共有し、意見を求める。 ・「にっしんココロの支援ガイドブック」の修正箇所を確認。 ・家族支援と意思決定支援について、方向性を決める。
提出書類	別添の通り
次回開催日時	令和7年7月22日(火)
次回会場	日進市障害者福祉センター 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 1 回	ケアマネジメント部会
	令和 7 年 5 月 27 日 (火) 13 時 30 分 ~15 時 00 分	
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	
① 脇本 浩行 (欠)	② 興梠 精視 (欠)
③ 磯村 有美 (欠)	④ 福岡 玲奈
⑤ 神谷 真里	⑥ 竹内 由美子
⑦ 滝川 智恵子	⑧ 小山 貴弘
⑨ 久保本 藍 (欠)	⑩ 福田 有輝

(市職員)

① 大橋 志乃	
---------	--

(事務局)

① 藤田 綾子	② 櫻木 順子
③ 渥美 則親	④ 宇佐美 香津美
⑤ 日岡 由季枝	⑥ 武末 拓也
⑦ 森田 敏湖	⑧ 西岡 きくの

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	森田 敏湖	市確認欄	
専門部会名	第2回	ケアマネジメント部会	
日時	令和7年7月22日(火) 13時30分～15時00分		
会場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 8名	市職員 1名	事務局 6名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り・ <input type="checkbox"/> なし		
次第	1 前回の振り返り 2 各部会の報告について 3 議題 4 その他 5 本日のまとめ、次回の検討課題について		
報告・検討の内容	1 前回の振り返り(武末) ・電子連絡帳ヘルピーネット及びメールで共有。 2 各部会の報告について(日岡) ・日進市社会福祉協議会の公式WEBサイトに掲載。 3 議題 (1)「にも包括ケアシステムの啓発」について(部会長) 〈変更点について共有〉 ・医療機関のページ(渥美) 掲載箇所は前回と同じで、中身を最新に変える。近々、紙面ができあがる予定。 ・裏面(武末) 窓口案内の「瀬戸保健所」について、「健康支援課こころの推進グループ」を追記する。 ・すばるの掲載について(日岡) サービスや制度ではないため、枠外の注記で表記をすることで了承をいただいている。 〈大学への周知について〉 ・瀬戸保健所と一緒に活動ができるとよいが、大学との連携について、具体的に話が進んでいない。 (2)「家族支援のあり方と意思決定支援の充実」について(部会長) ・家族支援として、親と支援者の意見交換会ができるといい。 ・育成会は9/10(水)、11/12(水)に中央福祉センターにて、10:00～12:		

00 で開催予定。

- ・意思決定支援は幼少期からの教育が大切であり、将来についてイメージをもつために、先輩にあたる親御さんの動きを学ぶ必要がある。意見交換会では、親御さん同士が繋がり、先の見通しが持てることで、個の悩みはありながらも生活ができていて、という話が聞けるといい。どこでイメージがつき、どこで安心ができたのか、働く親御さんと働いていない親御さんで視点が異なるかもしれない。話す内容やテーマを明確にしないと話がまとまらないため、事前アンケートがとれるといい。
 - ・育成会以外にもアンケートがとれれば回答が偏らない。すすく園卒園児のLINEグループでは、小学校～中学校の親御さんが集まっているため、事前アンケートを流すことは可能。
- アンケート内容を事務局で練り、部会員からは、いい案があれば電子連絡帳ヘルピーネットで意見をいただく。

4 その他

- ・7/4（金）に令和7年度尾張東部圏域精神障害にも対応した地域包括ケアシステム実務者会議が開催された。「にも包括」について共通認識をもつために、当事者の体験を含めてパネルディスカッションで共有された。

5 本日のまとめ、次回の検討課題について（部会長）

- ・「にっしんココロの支援ガイドブック」の医療機関のページは、近々、紙面ができあがる予定。窓口案内の「瀬戸保健所」に、「健康支援課こころの推進グループ」を追記し、すばるの掲載は枠外で注記の表記にする。印刷する冊数や大学との連携方法については、今後、検討していく。
- ・家族及び支援者による意見交換会の実施に向けて、11月12日（水）に開催予定の育成会との協同開催を検討している。当日、意見交換会において取り上げるテーマが定まっておらず、今後の方針を検討する必要がある。このことについて、家族の意見を把握するため、事前にアンケートを実施することも一つの手段である。アンケートを実施することが決定した場合には、事務局にてアンケート案を作成し、電子連絡帳ヘルピーネット及びメールにて部会員の皆様から意見・提案をいただく予定。その上で、テーマや進め方について具体的に検討を進めていく。

提出書類

別添の通り

次回開催日時

令和7年9月30日（火）

次回会場

日進市障害者福祉センター 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 2 回	ケアマネジメント部会
	令和 7 年 7 月 22 日 (火) 13 時 30 分 ~15 時 00 分	
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	
① 脇本 浩行 (欠)	② 興梠 精視 (欠)
③ 磯村 有美	④ 福岡 玲奈
⑤ 神谷 真里	⑥ 竹内 由美子
⑦ 滝川 智恵子	⑧ 小山 貴弘
⑨ 久保本 藍	⑩ 福田 有輝

(市職員)

① 大橋 志乃	
---------	--

(事務局)

① 藤田 綾子	② 櫻木 順子 (欠)
③ 渥美 則親	④ 宇佐美 香津美
⑤ 日岡 由季枝	⑥ 武末 拓也
⑦ 森田 敏湖	⑧ 西岡 きくの (欠)

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	森田 敏湖	市確認欄	
専門部会名	第3回	ケアマネジメント部会	
日時	令和7年9月30日(火) 13時30分～15時00分		
会場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 5名	市職員 1名	事務局 7名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り・ <input type="checkbox"/> なし		
次第	1 議題 (1) 「にも包括ケアシステムの啓発」について (2) 「家族支援のあり方と意思決定支援の充実」について 2 その他 3 本日の決定事項のまとめ及び、次回の検討課題について		
報告・検討の内容	1 議題 (1) 「にも包括ケアシステムの啓発」について 校正が済み、NPO法人じゃんぐるじむがデータを作成中のため、校正を待っている状態。冊数は、市の予算で400部(切り欠きあり、音声コード付き)を予定。(渥美) 大学への啓発に関しては、9月の自殺予防週間のための大学への送付物と一緒に、にも冊子のご案内を封入している。今後、満遍なく大学に周知し、冊子を設置していく予定。市の保健衛生会議が12月にあるため、医師会所属の医療機関にはなるが、新しい冊子を配布する予定。(櫻木) 瀬戸保健所での進捗を地域福祉課が報告。 大学への啓発について、保健所も愛知県立大学に働きかけを行う予定だったが、既に大学側で、にも包括の取り組みをされていたため、協働ができなかった。大学への働きかけについては、講師派遣という形で精神保健福祉センターが県内大学に希望調査をかけてはいるものの手が上がっていない。尾張旭市の動きとしては、市の職員向けに、にも包括の研修を行う話が出ている。(櫻木) 〈QRコード〉 QRコードを活用した、にも冊子の周知について、部会員に意見を伺う。(武末) ・予算も関係するが、QRコードを活用した方が、啓発資材を置きやすく、PCで冊子の中身の更新ができる利点がある。 ・QRコードをただ置くのではなく、どういう時に見てほしいか、メッセージを添えられるといい。		

- ・ある程度、関心のある方の目に留まるところに設置ができるといい。A4サイズの紙等に説明をしたうえで、QRコードの案内ができるといい。
- ・かばんに入るサイズで作成できると、周囲に知られずに確認ができ、有益と思う。
- ・事業所が関係するカフェ等に設置ができるといい。

Q：QRコードの啓発資材を置く場所は？

A：部会員との協議があるが、例えば医師会所属の医療機関などがあげられる。

Q：QRコードで読み込んだ先が、どこに繋がるようにするのか？

A：最新情報を提供するため、直接冊子の中身に飛ぶのではなく、日進市社会福祉協議会や、日進市役所のホームページに一旦飛び、冊子のご案内ができるといい。市のホームページであれば、閲覧人数のカウントが可能。

Q：「にしんの福祉」にQRコードを盛り込む頁の余裕はあるのか？

A：お知らせを挟むことは可能だが、福祉と繋がっていない方に向けて、にしんの福祉とは別で啓発資材を作製できるといい。

→今年度は、にも冊子の更新を行った。来年度は冊子の啓発をする。啓発の予算は次年度の日進市社会福祉協議会の啓発予算にのせ、資材の種類については、期日を設け、部会員から電子連絡帳ヘルピーネットで意見を伺う。

(2)「家族支援のあり方と意思決定支援の充実」について

家族支援の講義を受ける目的として、部会として取組める内容を明確化し、他部会への働きかけにより、全部会員の意識を高め、各部会でライフステージに取組めるようになるといい。(武末)

最終目標は強度行動障害にさせないことと、意思決定支援の実現である。事業所と家族で本人の自立に向けた支援ができることが望ましいが、家族支援の講義を受ける案について、部会員に意見を伺いたい。(日岡)

- ・家族や本人が、障害受容ができるような声掛けや、夫婦で共通認識ができていない場合の声掛けを知りたい。
- ・公的に行われている家族支援を知ったうえで、事業所が補えるといい。保護者が何を求めているのかを知ることができるといい。
- ・まずは講義を受け、その後何ができるのかを整理していきたい。
- ・ペアレントトレーニングやペアレントプログラムの養成講座を受けたことがあるが、見る視点によって異なる子どもの困り感を分析し、保護者も対応することが大変だった。どう大変でどうなっていくのか講義で話していただくと、家族に伝えやすいのではないかと。
- ・保護者は子どもが生まれて判定されるまで、診断を受けてから受容するまで、得た対応方法を自分に落とし込むことまでも葛藤される。保護者のみで抱え込むのではなく、いくつもの捉え方の相談ができたり、考え方を変えられる機会をもっていた保護者は強度行動障害を防げると思う。そこの重要性を共通認識でもてるといい。
- ・公的な家族支援と繋がれない場合に、身近な事業所に質問が入ると思

う。講義によって各事業所が取り組める内容を考えられるようになり、各事業所のスキルアップができるといい。

- ・事業所が現実的に何ができるのか、事業所が着目できていないのか、できて時間がないのか分からないが、まずはやれることをできたらいい。
- ・誰のために講義を聴くのかをはっきりさせないと、ぶれてしまうのではないか。意思決定支援ができるように、ケアマネ部会ができることの情報整理ができるといい。

Q：ケアマネジメント部会が主催で、他部会も参加するのか？

A：講義部分については、他部会にも声をかける予定。

→家族支援の講座開催が決定。部会員からの意見を子ども発達支援センターの熊谷センター長に伝え、11月11日は、1時間の講義と残りの30分で今後の活動について話し合う時間とする。

〈育成会との意見交換について〉

Q：11月の定例会に事務局が訪問し、意見交換会を開催することで、体験に基づいた意見を伺えたらと思うが、いかがか。

A：既に11月の定例会のテーマを「親亡きあと」に決めており、育成会でやっている保険について話す予定になっている。

→育成会には、日程の都合から文書で依頼することになる。

〈障害福祉計画を見直すためのアンケートについて〉

家族支援について育成会に文書で伺うが、全数に発送する市のアンケートに家族支援の内容を盛り込むいい機会である。どのような内容を盛り込むか、アンケート内容について部会員より意見を伺いたい。（大橋）

- ・サービス利用者用の24頁の文言「ご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。」だと書かない人が増えると思うため、「困ったこと・こういう助けがほしかった・必要だった内容をご記入ください」に変更できると書きやすいと思う。
- ・市のアンケート調査の配布がゴールデンウィーク前で、尚且つ締め切りが早かった。事業所は休みだったが、本人達が理解して回答ができるように、支援者と本人が集まりアンケート読み解く機会を作っていたが、集まれずに全然回答ができない年もあった。余裕をもって答えられる期間がほしい。
- ・躰きポイント、支援が必要な年代、何がわからないのか等を知ることができる問いや、どんな時に支援が必要で何で助かったのか、ということ聞けるといい。

Q：アンケートの対象者が、サービス利用者・一般・事業所・支援団体だが、当事者のご家族に向けたアンケートは作ってはいけないのか？

A：ご家族向けを一つの意見として受け止めたい。

Q：アンケートはいつ頃に作成し、発送か？

A：いつまでにアンケートを作成するかは未定だが、前回の記憶では、年明けに発送し、年度末か初め頃に回答がきたと思う。確認後に、電子連絡帳ヘルピーネットにて共有したいと思う。

Q：市での今後の流れは？

A：おそらく検討部会を立ち上げ、1月の自立支援協議会本会議の報告に間に合うように、介護福祉課担当から部会員に声が掛かり、メンバーが決まる。アンケートは発送前に内容を諮ると思う。

Q：育成会への聞き取りと市のアンケートとの関係は？

A：育成会へは、部会として取り組む家族支援の参考とするため、聞き取りを予定したが、日程の都合で文書での依頼となった。内容としては、育成会に入ってよかったこと、情報を得られてよかったこと、成功体験などを想定している。市のアンケートは、障害福祉計画の見直しのためのものである。

→家族支援として家族に聞きたい内容を各事業所で考えていただき、電子連絡帳ヘルピーネットでご意見をいただく。期日については、介護福祉課より報告をする。

2 その他

3月は全体会になり、1月で部会が最後になるため、次回は来年度の内容を検討したい。(日岡)

3 本日の決定事項まとめ及び、次回の検討課題について

次第の各項目について、協議内容を再度確認した。

- ・(1)「にも包括ケアシステムの啓発」については、今年度は、にも冊子の更新を行った。来年度は冊子の啓発をする。啓発の予算は次年度の日進市社会福祉協議会の啓発予算にのせ、資材の種類については、期日を設け、部会員から電子連絡帳ヘルピーネットで意見を伺う。
- ・(2)「家族支援のあり方と意思決定支援の充実」については、11月11日に家族支援の講座開催を決定。部会員からの意見を子ども発達支援センターの熊谷センター長に伝え、1時間の講義と残りの30分で今後の活動について話し合う時間とする。
- ・育成会への聞き取りについては、文書で依頼する。
- ・障害福祉計画を見直すためのアンケートに盛り込む内容については、各事業所で、家族支援として家族に聞きたい内容を考えていただき、電子連絡帳ヘルピーネットでご意見をいただく。期日は、介護福祉課より報告をする。

提出書類

別添のとおり

次回開催日時

令和8年1月27日(火)

次回会場

日進市障害者福祉センター 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 3 回	ケアマネジメント部会
	令和7年9月30日(火) 13時30分 ~15時00分	
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	
① 脇本 浩行 (欠)	② 興梠 精視 (欠)
③ 磯村 有美	④ 福岡 玲奈
⑤ 神谷 真里 (欠)	⑥ 竹内 由美子
⑦ 滝川 智恵子 (欠)	⑧ 小山 貴弘
⑨ 久保本 藍 (欠)	⑩ 福田 有輝

(市職員)

① 大橋 志乃	
---------	--

(事務局)

① 藤田 綾子	② 櫻木 順子
③ 渥美 則親	④ 宇佐美 香津美
⑤ 日岡 由季枝	⑥ 武末 拓也
⑦ 森田 敏湖	⑧ 西岡 きくの (欠)

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	森田 敏湖	市 確 認 欄	
専門部会名	第4回	ケアマネジメント部会	
日時	令和7年11月11日(火) 13時30分～15時25分		
会場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 6名	市職員 1名	事務局 8名
	講師 1名	※出席者名簿は、別添のとおり	
傍聴者	有り・ <input type="checkbox"/> なし		
次第	1 家族支援講座 2 意見交換 3 本日のまとめ及び、次回の検討課題について		
報告・検討の内容	1 家族支援講座 別紙参照。 2 意見交換 日進市子ども発達支援センター熊谷センター長が同席のもと、家族支援について意見交換を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・人との繋がりができるよう、集まれる場が定期的で開催されるとよいが、どれくらいの人繋がりを求めているのかはわからない。また、平日開催だと集まれる人が限られ、土日開催だと支援者の対応が難しい状況がある。個々の支援員が意識をもち、各事業所でできることから取り組み、それぞれの事業所に家族会があれば、同じ境遇の方同士が繋がれるのではないかな。 ・ケアマネジメント部会で家族や当事者が集まれる場を設けるのであれば、継続ができる工夫が必要だが、まずは市内や近隣の資源を調べるのが大切なのではないかな。スターバックス日進香久山店では認知症対象の N-cafe が開催されている。 ・ケアマネジメント部会での開催は体制面と運営上の負担が大きいと思うため、市内事業所に対して家族会や家族支援の必要性を啓発していくのが望ましいのではないかな。 〈日進市子ども発達支援センター熊谷センター長よりご意見〉 <ul style="list-style-type: none"> ・すすく園では保護者からの声で、勉強会や卒園した親からの声を聞く会などを始めている。ニーズを聞かないと何をしたらいいかわからないと思うし、ニーズがわからないと何かを始めても参加者が集 		

まらないと思う。どんな支援を求めているのかを確認したほうがよい。

- ・自身の経験では、保護者は切実に仲間を求めており、関わる事業所にはもっと話を聴いてほしい、という思いを持っていた。

〈再度、ケアマネジメント部会員にて意見交換〉

- ・現在の状況では情報が足りていないため、共通課題やニーズを集め、整理ができるとよい。
- ・各事業所で家族支援を意識した関わりを行い、部会で取り組みを報告するなかで、みえてきたニーズを拾うのはどうか。その際に、誰が困っているのかを精査し、本人の自立に繋がられるよう、家族のために何ができるのかというポイントを押さえる必要がある。
- ・今後は、市内のニーズを把握するための協議を進めていけるとよい。

〈全体会について〉

- ・3月に開催する全体会では、家族支援講座の振り返りとケアマネジメント部会の方向性を報告し、市内事業所において家族支援について意識をしてほしい旨を伝える予定。(櫻木)

3 本日のまとめ及び、次回の検討課題について

家族支援講座後に、日進市子ども発達支援センター熊谷センター長同席のもと、部会員で意見交換を行った。

- ・家族支援についてニーズを把握するために、次回のケアマネジメント部会では各事業所における事例を持ち寄り、ニーズの整理と来年度の取り組みについて協議を行うこととする。取り組み内容の案は以下のとおり。①市内や近隣にある社会資源の情報収集。②市内の事業所へ、家族会や家族支援の必要性を啓発。

第3回ケアマネジメント部会において抽出されている検討課題は以下のとおり。

- ・「にも包括ケアシステムの啓発」について、冊子の啓発を行うための資料について期日を設け、部会員より電子連絡帳ヘルピーネットで意見聴取する。
- ・育成会への聞き取りを文書で行うため、電子連絡帳ヘルピーネットにて意見交換を行ったが、家族支援講座を受けて改めて感じたことについて、期日を決めて意見を募り、次回のケアマネジメント部会において内容を決定する。
- ・障害福祉計画を見直すためのアンケートに盛り込む内容について、各事業所で家族支援として家族に聞きたい内容を検討し、電子連絡帳ヘルピーネットでご意見をいただく。期日は介護福祉課より案内を流す。

提出書類	別添のとおり
次回開催日時	令和8年1月27日(火)
次回会場	日進市障害者福祉センター 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 4 回	ケアマネジメント部会
	令和7年11月11日(火) 13時30分 ~15時25分	
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	
① 脇本 浩行	② 興梠 精視 (欠)
③ 磯村 有美	④ 福岡 玲奈
⑤ 神谷 真里	⑥ 竹内 由美子 (欠)
⑦ 滝川 智恵子 (欠)	⑧ 小山 貴弘
⑨ 久保本 藍 (欠)	⑩ 福田 有輝

(市職員)

(講師)

① 大橋 志乃	熊谷 豊 (子ども発達支援センター センター長)
---------	-----------------------------

(事務局)

① 藤田 綾子	② 櫻木 順子
③ 渥美 則親	④ 宇佐美 香津美
⑤ 日岡 由季枝	⑥ 武末 拓也
⑦ 森田 敏湖	⑧ 西岡 きくの

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	森田 敏湖	市 確 認 欄	
専門部会名	第 5 回	ケアマネジメント部会	
日 時	令和 8 年 1 月 27 日 (火) 13 時 30 分～14 時 45 分		
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 5 名	市職員 1 名	事務局 8 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り・ <input type="checkbox"/> なし		
次第	1 議題 2 その他 3 本日のまとめ及び、次回の検討課題について		
報告・検討 の内容	<p>1 議題</p> <p>(1) 「にも包括ケアシステムの啓発」について 今年度は、冊子の情報更新を完了し、次年度に向けて冊子の QR コード化を進めることが決定している。電子連絡帳ヘルピーネットにて、QR コードの啓発資材に関するアンケートを実施し、「卓上 POP」と「壁掛けポスター」の 2 種類を作成することが決定したため、次年度は QR コード化による閲覧アクセス数を確認し、共有をする。</p> <p>次年度の取り組みについて説明（櫻木） 今年度は和合病院と情報交換会を行い、つながりをもつことができた。 日程は未定だが、今後はケアマネジメント部会の部会員以外の関係者（精神科病院の MSW や相談支援事業所など）も交えた情報交換の場を設け、顔の見える関係作りと連携強化を図りたい。</p> <p>(2) 「家族支援のあり方と意思決定支援の充実」について 今年度は「児童発達支援ガイドライン」に基づいた勉強会を実施し、家族支援の基本を学び、共通認識をもつことができた。また、コミュニケーションによる信頼関係の構築や、情報収集の重要性について共有をし、事業所によっては家族懇談会を実施するなど、実践に繋がっていることが報告された。次年度以降は全体会へと議論の場を移行し、より広い視点で協議をしていく。</p> <p>家族支援に関するニーズ把握のために検討をしていた育成会へのアンケートは、市の障害福祉計画を見直すためのアンケートに必要な項目を盛り</p>		

込むことが決定した。アンケート結果は次年度に共有をする。

次年度以降は本来の役割である「地域課題の抽出」に立ち返る。部会員全員から「対応困難事例」「各事業所での頻出傾向事例」「好転した成功事例」を持ち寄る。具体的なケースを通じた意見交換を実施し、ケアマネジメント部会として集約・協議していく。

「地域生活支援拠点等の機能の充実」について、事務局より説明（櫻木）
日進市は市内の事業所全体で支える面的整備を行っており、緊急時の受け入れ体制として居室確保事業があるが、実際には利用実績がない。機能する体制づくりを進める必要があるが、登録事業所が少なく、使い方が周知されていない現状がある。

- ・緊急時に子どもを預ける事例があったが、預け先が市内ではなかったため、子どもが日中に学校に行けないということがあった。
 - ・緊急で知らない場所に泊まることは利用者にとってはハードルが高く、支援者も対応が難しい。平時から登録事業所の体験利用をし、顔なじみになっておく必要があるのではないかな。市内に既にある入所施設と協力をする方がよいのではないかな。
 - ・普段から近隣の事業所を使い、緊急時に対応をしてもらえる関係を構築できたらいいのではないかな。
 - ・居室確保事業登録の事業所を集めて、前回のシミュレーションの振り返りをしてもいいのではないかな。
 - ・名古屋市では地域生活支援拠点の登録事業所に委託金を投じており、みよし市では事業所の部屋を市が押さえている。
 - ・登録をしない理由として、登録の仕方も加算も、連携して何ができるのかも理解されていない現状がある。
- 全体会にて、周知と説明をすることになる。

電子連絡帳ヘルピーネットの活用について、事務局より説明（櫻木）
次年度以降も電子連絡帳ヘルピーネットを活用していく。令和8年2月にバージョンアップが行われることによる注意点と変更点について周知。

2 その他

令和8年度ケアマネジメント部会のスケジュールは5月、7月、9月、11月、令和9年1月の第4火曜日、13時30分～15時での開催を予定。協議内容は「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの啓発」、「地域課題の抽出及び、事例検討」、「地域生活支援拠点等の機能の充実」の3点で決定する。

3 本日のまとめ及び、次回の検討課題について

(1) 「にも包括ケアシステムの啓発」について

冊子のQRコード化は「卓上POP」と「壁掛けポスター」の2種類を作成。今後、部会員以外の関係者も交えた情報交換の場を設ける。

(2) 「家族支援のあり方と意思決定支援の充実」について

全体会へと議論の場を移行し、より広い視点で協議を行う。障害福祉計画を見直すためのアンケート結果を次年度に共有し、ケアマネジメント部

	<p>会として、本来の役割である「地域課題の抽出」に立ち返る。部会員全員から「対応困難事例」「各事業所での頻出傾向事例」「好転した成功事例」を持ち寄り、具体的なケースを通じた意見交換を実施し、ケアマネジメント部会として集約・協議していく。</p> <p>「地域生活支援拠点等の機能の充実」について、登録事業所が増えるよう、全体会にて、周知と説明を行う。</p>
提出書類	別添のとおり
次回開催日時	令和8年5月26日（火）
次回会場	日進市障害者福祉センター 大会議室

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 5 回	ケアマネジメント部会
	令和8年1月27日（火） 13時30分 ～14時45分	
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	
① 脇本 浩行 （欠）	② 興梠 精視 （欠）
③ 磯村 有美	④ 福岡 玲奈
⑤ 神谷 真里	⑥ 竹内 由美子（欠）
⑦ 滝川 智恵子（欠）	⑧ 小山 貴弘
⑨ 久保本 藍 （欠）	⑩ 福田 有輝

（市職員）

① 大橋 志乃	
---------	--

（事務局）

① 藤田 綾子	② 櫻木 順子
③ 渥美 則親	④ 宇佐美 香津美
⑤ 日岡 由季枝	⑥ 武末 拓也
⑦ 森田 敏湖	⑧ 西岡 きくの